

審議した主な議案

平成25年度小金井市一般会計補正予算(第1回)

6月3日の本会議において、算特別委員会(宮下誠委員長)に付託し、18日及び24日の計2日間にわたり、歳入、歳出、総括の順に審査を行いました。

主な内容は、成人風しん予防接種に要する経費(千252万9千円)、東京都からの補助金を活用した緊急雇用創出事業に要する経費(5千550万円)、小学校給食調理業務を本年9月から5校民間委託するための学校給食に要する経費(7千795万2千円)、フェンス設置工事と防犯カメラ借上げのための文化財センター維持管理に要する経費(486万円)などです。

6月26日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

反対討論(要旨)

水上洋志(日本共産党)

反対の理由は、小学校給食調理業務の民間委託化の予算が計上されているため。民間企業は、衛生管理などが徹底されていない。また、実際の人件費では財政効果が市の説明よりも大変少なく、配置基準どおり受託企業が職員を配置すると財政効果はない。その財政効果を教育のために使うという具体的な内容も示されていない。進め方も市民参加条例の趣旨に反する。

また、生活保護基準引き下げが反映する予算である点でも反対である。

賛成討論(要旨)

中山克己(自民党小金井)

安全でおいしく温かい給食の

提供のため、民間のノウハウと直営校の技術的知識と経験の連携による効果的・効率的な新しい経営方式での小学校給食調理業務委託で、市民満足度向上を図る。他に、成人を対象とした風しんの予防接種や新たに36人の雇用を創出する雇用対策関連5事業等高く評価できる。引き続き厳しい財政環境の中、補助金の有効活用等で財源確保に努め、安心して安全なまちづくり、市民の福祉向上のための予算が編成されており賛成する。

反対討論(要旨)

田頭祐子(生活者ネット)

4つの理由で反対する。①国が生活保護基準を改定しても、就学援助など今までの水準は維持できるように自治体も対応すべき。②ごみ減量啓発のためのキャラクター着ぐるみに150万円は市民感覚から遠い。③浴恩館公園の文化財センターをフェンスで囲む予算は景観を損ね、防犯上からも市民参加で再考すべき。④小学校給食調理業務委託は進め方が問題で市民の理解と納得が不可欠。財政効果も明確な裏付けがない。

賛成討論(要旨)

小林正樹(公明党)

新しい経営方法が示され、5校の小学校給食調理委託料に関する予算が含まれている。これは、第2次に続き、平成22年に示された第3次行財政改革大綱の中で既に目標に掲げ、議会にも諮られてきた。年間約4千万円の財源が捻出され教育費に充

てるとともに、小金井らしい「安全でおいしく温かい給食」を維持・向上し提供し続けていくためにも、将来を見据えた必要不可欠な決断であると考え、保護者の方の不安が解消できるような、取り組んでいただきたい。

反対討論(要旨)

斎藤康夫(市民会議)

当予算には、福祉、消費者、いじめ対策、S.O.H.O準備など評価できる関連項目が含まれている。しかし、学校給食調理業務民間委託については賛成できない。この進め方は拙速であり、保護者の理解を得るには至っていない。丁寧な説明が必要である。また、一般質問において、民間委託をする前に放射線対策をすべき、または民間委託で生み出した経費を放射線対策の財源に充てるべきと提案したが、市長の答弁はゼロ回答であった。よって本議案に反対する。

賛成討論(要旨)

鈴木成夫(市議会民主党)

小学校5校の給食調理民間委託関連予算7千795万2千円を含む今回の補正予算は、第3次行財政改革大綱の方針に沿った職員数の適正化を進めるものである。保護者対象の説明会では、保護者の不安を解消できず、提案が唐突、進め方が拙速との意見が出た。しかし、職員数削減で調理業務の職員体制が厳しいことも事実である。今後は保護者だけでなく学校給食や食育に関心を寄せる市民とともに、意見交換の場を設けることを強く要望し、賛成討論とする。

反対討論(要旨)

白井亨(こがおも)

小学校給食調理業務の民間委託に関する予算に賛成できない。調理員の置かれていない現状や行

財政改革の観点から、調理業務の直営体制を見直す点は賛成だが、進め方に問題がある。今回の進め方については、納得していない保護者の声が多く、市民参加条例に反している疑念は、市の答弁を聞いても拭えなかった。この進め方を認めることで、いつまでもたっても行政の市民後回しのやり方は改善されないのではないかと。今後の小金井市全体を考え、反対する。

賛成討論(要旨)

百瀬和浩(みんなの党)

賛成の理由は、学校給食調理業務の民間委託のための予算が計上され、民間委託で安心・安全を確保し、経済性の高い事業として今後の行政運営に寄与できる道が開かれたことにある。これまでの小金井市の学校給食の伝統を民間事業者に伝承し、民間事業者のノウハウや経験を融合させる絶好の機会である。民間委託後は、児童の安心・安全を最優先とし、その保護者や関係者が十分に納得できる学校給食を、継続的に意見交換をしながら構築していただきたい。

賛成討論(要旨)

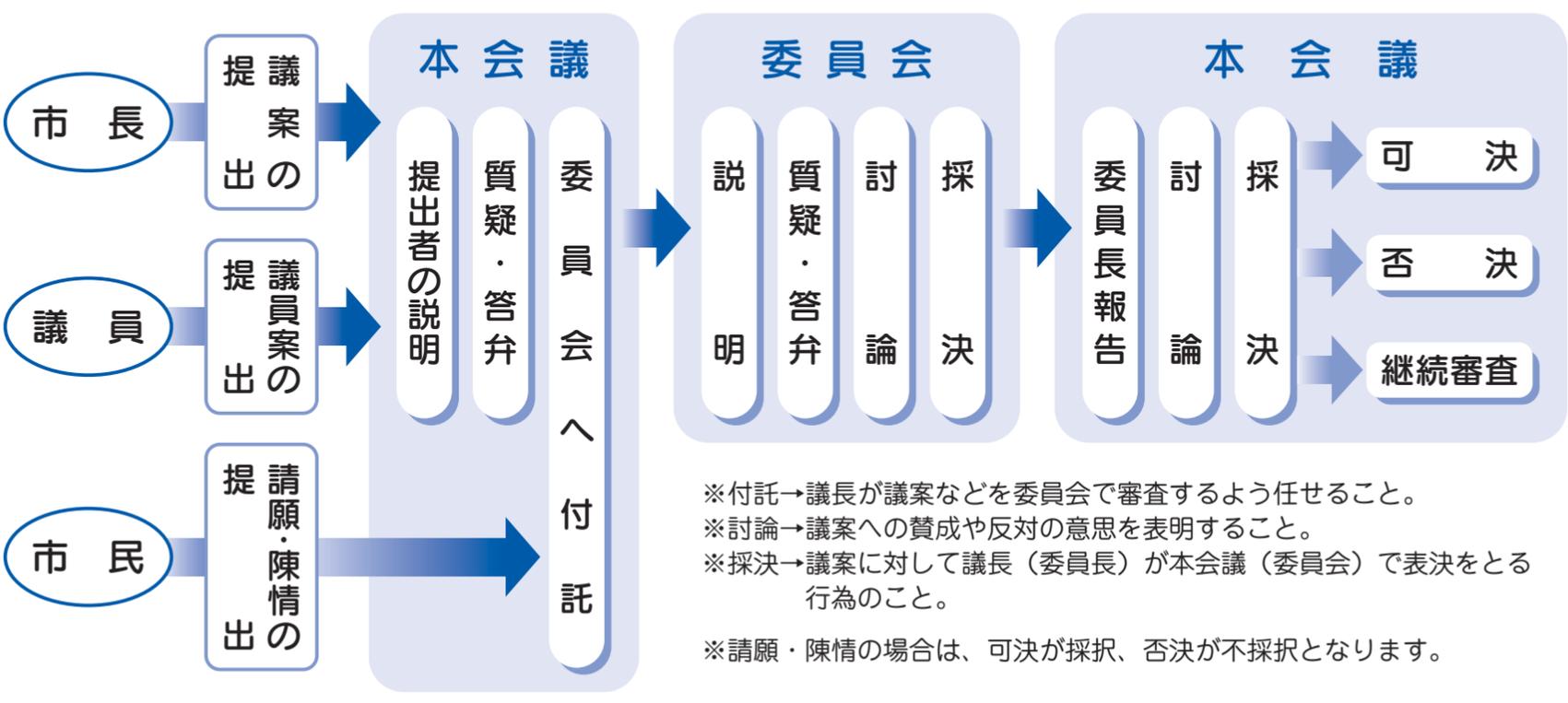
五十嵐京子(改革連合)

小学校5校の学校給食調理業務の委託化が提案された。第3次行財政改革大綱に基づき、平成22年から議会に示し、組合と本年4月に合意。現状、業務と職員体制は限界まできており、子どもたちや保護者に迷惑を掛けることにもなりかねない。この実態を重く受け止め、給食を安定的に提供するため、9月からの委託化に向け努力してほしい。限られた時間での全校説明会実施は評価するが、日頃からの市政情報提供の在り方について一層の努力をしてほしい。

議会Q&A

Q 議会はどのような流れで進むのですか？

A 本会議は年4回(3月、6月、9月、12月)定期的に開かれる定例会と、必要に応じて開かれる臨時会があり、原則、市長が招集します。定例会・臨時会とも会期が定められ、本会議や委員会を開き、議案などを審議し、議会としての意思を決定します。定例会は約1か月間開かれます。市長や議員から提出される議案や議員案は、おおむね以下のような流れで審査されます。



※付託→議長が議案などを委員会で審査するよう任せること。
 ※討論→議案への賛成や反対の意思を表明すること。
 ※採決→議案に対して議長(委員長)が本会議(委員会)で表決をとる行為のこと。
 ※請願・陳情の場合は、可決が採択、否決が不採択となります。